

本日の内容

- 1. 事業説明
- 2. 工事概要
- 3. 苦労したポイント
- 4. 本日の見学について



1. 事業説明

大規模改修に至った経緯

八尾市文化会館の課題

八尾市文化会館(プリズムホール)は、昭和63年に開館し、本市の芸術文化振興の拠点施設として重要な役割を果たしてきたが、開館から30年以上が経過し、施設、設備の老朽化に伴う機能の低下や、大ホールや光のプラザの天井に用いられている吊り天井構造は東日本大震災以降、その危険性が指摘されており、早期の対策が課題となっていた。

大規模改修のスケジュール

年度

	平成30年度	平成31年度 (令和元年度)	令和2年度	令和3年度	令和4年度
基本構想 (八尾市文化会館のあり方検討)	\longleftrightarrow				
基本計画		\longleftrightarrow			
基本設計		\leftrightarrow			
実施設計			\longleftrightarrow		
工事				-	>
引渡し・開館準備					↔

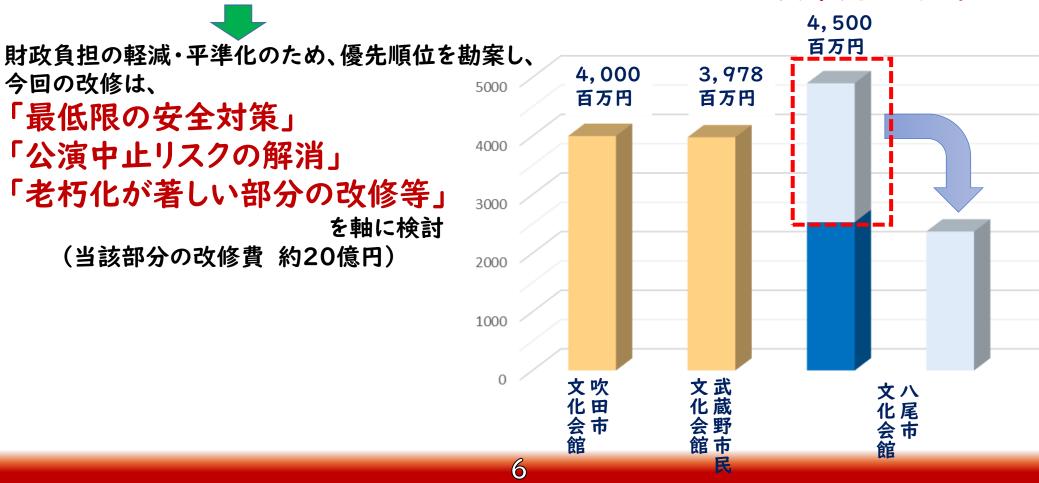
◆8月2日 グランドオープン

あり方検討、基本構想(平成30年度)

年間40万人の利用、高い施設稼働率(大ホール約80%)、市民アンケート文化会館必要70%



財政負担の平準化のため、PFI方式による発注を検討したが、条件が整わず従来発注方式に



基本計画(令和元年度)

基本構想段階での検討に加えて、<u>費用抑制を意識したうえで</u>、「バリアフリーやユニバーサルデザイン」「賑わい創出に向けた改修」などの考え方を追加(約4億円)。なお、優先度の低い工事を I O 年後の令和 I 4 年(2032年)前後に実施する計画を別途策定。

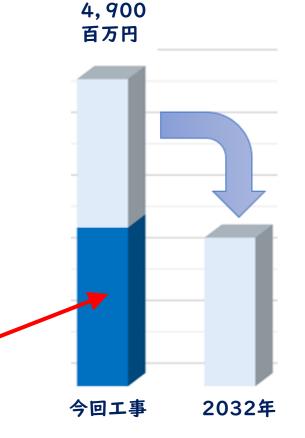
八尾市個別施設保全計画 (文化会館編)

計画期間(2021~2060)						
短期	中期	長期	超長期			
2021~2030	2031~2040	2041~2050	~2060			
2021~22 大規模	2032前後 大規模 2038前後 診断	2048 長寿				

今回大規模改修実施分

2,455百万円

(工事請負費予算)



八尾市第6次総合計画 (八尾新時代しあわせ成長プラン)

本大規模改修事業は将来都市像実現の施策として位置づけられており、注目度の高い事業となっている。

将来都市像

6つのまちづくりの目標

つながり、かがやき、しあわせつづく、成長都市 八尾

目標1

未来への育ちを 誰もが実感 できるまち

目標2

もしもの時への 備えがあるまち

目標3

世界に魅力が広がるまち

目標4

日常の暮らしが 快適で環境に やさしいまち

目標5

つながりを創り 育て自分らしさを 大切にしあうまち

目標6

みんなの力で ともにつくる 持続可能なまち



34の施策

施策No. 8:芸術文化の魅力を活かした豊かなまちづくり

八尾市第6次総合計画 (八尾新時代しあわせ成長プラン)



できるまち

芸術文化の魅力を活かした豊かなまちづくり

す。

機能更新改修

めざす暮らしの姿 基本方針 ● 市民が安全・快適に文化会館を利用でき、市民 ① 市民の創作・発表活動の活性化に向けて、創 市民の芸術文化活動が盛んに行われて [芸術文化活動] 目標5 います。 ● 市民の芸術文化振興の拠点である文化会館において、 の芸術文化活動が広がるように文化会館の機 作・発表の場の確保、活動に加わるきっかけ 多くの市民が芸術文化活動を行っています。 づくり、活動・交流の幅の拡大を図ります。 能更新が必要です。 つながりを創り うながり 自分らしさ 育て自分らしさを 大切にしあうまち 身近に芸術文化に触れることができる 「芸術文化活動) ● 日常生活の中で芸術文化に親しむ場や機会を ② 文化会館をはじめ、市内の様々な場所で芸術 目標5 機会があります。 ● 市民が身近に芸術文化に触れることができるよう、コ 増やしていくことが課題です。 文化に触れることができる機会を設けます。 ミュニティセンターを会場とした芸術文化イベントの開 つながりを創り うながり自分らしさ 育て自分らしさを 催等による文化振興活動のアウトリーチ※事業に取り組 情報表示設備の新設 大切にしあうまち んでいます。 目標3 ③ 観光振興と連携した八尾の芸術文化・地域文 [芸術文化活動] ● 八尾ならではの芸術文化や八尾に根づく地域 街中に芸術文化があふれていて八尾の 魅力を感じることができます。 ● 芸術文化を通じ心豊かに暮らせる文化的なまちの創造 文化を市内外に発信し、八尾の魅力として高め 化の魅力発信に向けて、多様な主体(行政、 に向けて、各種芸術文化振興事業を展開しています。 観光協会、NPO*、地域団体、民間企業など) ていくことが課題です。 世界に魅力が 世界・魅力 が協働して取り組みます。 広がるまち ● 学校へのアウトリーチ*事業や文化会館での 芸術文化の力で子どもたちの笑顔が輝 [芸術文化活動] ④ 幅広いジャンル、世代、地域を対象とした事 目標1 いています。 ● 学校へのアウトリーチ*事業の実施により、子どもたち ワークショップ等を通じて、多くの子どもたちが 業展開を基本としつつ、特に、次代を担う子 芸術文化の魅力に触れる機会を提供し、芸術文 どもを対象とした取り組みを進めることで、 が芸術文化に触れています。 未来への育ちを ● 吹奏楽のまちとしてのイメージを高めていくため、交響 化への関心を高めていくことが課題です。 芸術文化が与える感動により子どもたちの 誰もが実感 楽団や大学等による中学校部活動の指導や、吹奏楽 生きる力と心の豊かさを育みます。

賑わい創出改修

フェスティバルの開催等、普及・振興に取り組んでいま

大規模改修のコンセプト(八尾市文化会館改修基本計画)

- 1. 安全対策
 - ・大ホール・光のプラザの特定天井の改修
- 2. 公演中止リスクの解消
 - ・老朽化が著しい舞台設備(機構、照明、音響)の改修
- 3. 老朽化が著しい部分の改修
 - ・老朽化の著しいトイレや外壁・屋上防水の改修
- 4. 更新年数を超える設備の更新
 - ・計画更新年を超える主要設備の改修
- 5. バリアフリー・ユニバーサルデザイン対応
 - ・多目的トイレ改修、案内サインの改修、手摺、授乳室の設置
- 6. 施設としての機能の充実
 - ・交流機能の充実、賑わい創出に向けた改修、各諸室の機能充実に向けた改修

その他の整備等

1. 喫茶事業

・公募により選定された事業者にて、喫茶事業運営を実施。(事業者:株式会社 丸兆)

2. チケットカウンター、情報・交流スペースの空間デザインプロポーザル事業

· 2Fの賑わい創出の為、プロポーザルにより家具·什器の整備を実施。(事業者 株式会社 友安製作所)

3. 全館LED照明(リース契約)

·大規模改修対象外となった部屋の蛍光灯をリース契約にて全てLED化(事業者 アイリスオーヤマ株式会社)

4. 徳 治昭 (とくはるあき) 氏による授乳室の童画制作

・授乳室内の壁一面に八尾市在住の童画家 徳氏が童画を描く。

5. LANの整備

·フリーWi-Fiや貸館業務用LAN等を整備。(事業者 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社)

6. ガバメントクラウドファンディングの実施

·大ホール座席への名前銘板取付、館内寄付者銘版の設置(2Fチケットカウンター)

業務・工事発注

種別	実施者	請負金額	備考
基本構想 基本計画	八尾市	-	
基本設計 実施設計	株式会社佐藤総合計画	¥78,980,000	プロポーザル
工事監理	株式会社佐藤総合計画	¥32,275,100	随意契約
建築工事	大豊·畑中特定建設工事共同企業体	¥1,882,988,800	一般競争入札
機械設備工事	浦安·桝井特定建設工事共同企業体	¥190,292,300	一般競争入札
電気設備工事	明和電気防災株式会社	¥257,538,600	一般競争入札

2. 工事概要

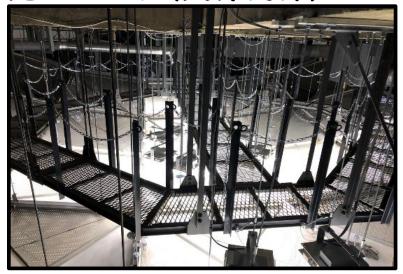
1. 安全対策

大ホール・光のプラザの特定天井の改修

大ホール客席(天井内部)

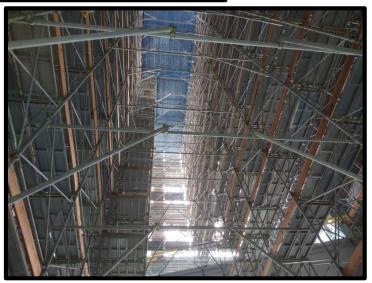








工事中の足場



2.公演中止リスクの解消

老朽化が著しい舞台設備(機構、音響、照明)の改修

舞台機構



舞台床装置の更新

舞台音響



音響卓の更新

舞台照明



ステージ照明の更新



大ホール | 階客席の更新

更新に伴い、ゆったり 座れる客席に 小ホール客席の更新





内装は木目を基調とし、照 明の色は電球色を採用し、 落ち着きのあるデザイン

大便器の洋式化

トイレ改修において、便器は和式から全て洋式化の対応を実施。 幼児用小便器も設置し、子ども連れの方にも利用しやすいトイレとなった。

		改修前				改修後			
		大ホール	小ホール	諸室	合計	大ホール	小ホール	諸室	合計
小便器	一般用	22	8	15	45	21	8	- 11	40
小文品	幼児用	0	0	0	0	4	2	8	14
大便器 -	和式	21	7	12	40	0	0	0	0
	洋式	13	4	14	31	35	10	27	72

屋上の防水や外壁の改修





外壁タイル面等の改修

屋上防水の改修

4. 更新年数を超える設備の改修

計画更新年を超える主要設備の改修



受変電設備の更新



給水タンクの更新



バリアフリー対応



大ホール 大階段手摺増設



楽屋通路の段差解消機

車いす席の増設 (大・小ホール)

多目的トイレ全面改修、多目的トイレ2ヶ所増設

オストメイト設備



幼児用小便器



館内の多目的トイレ、オストメイト・ベビーベッド等の増設。 ベビーコーナー、幼児用小便器等の新設。

	改修前					改修後				
	大ホール トイレ	小ホール トイレ	その他 トイレ	授乳室	合計	大ホール トイレ	小ホール トイレ	その他 トイレ	ベビー コーナー 授乳室	合計
多目的トイレ	2	1	5	0	8	3	1	6	0	10
授乳ブース	0	0	0	I	ı	0	0	0	4	4
ベビーチェアー	3	ı	2	0	6	6	2	4	0	12
ベビーベッド (おむつ交換台)	0	0	ı	0	ı	3	ı	4	3	11
幼児用小便器	0	0	0	0	0	5	2	8	0	15
オストメイト	0	0	ı	0	1	0	0	2	0	2
介護ベッド	0	0	0	0	0	0	0	1	0	T

ベビーコーナーの新設



授乳室 おむつ替え



童画家・徳治昭氏の絵

調乳設備

Welcome to PRISM HALL

案内サインの改修





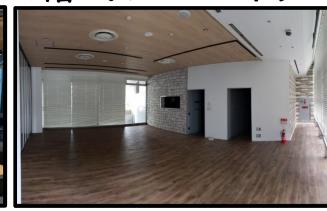
総合案内版

英語・ベトナム語・中国語・韓国語

デジタル サイネージ Information

交流機能を充実させ、 "賑わい創出"の改修 |階 オープンコーナー |階 カフェ・レストラン





2階 情報・交流コーナー



光のプラザから見る YAOのオブジェ



光のプラザ各所にロールスクリーンを設置



大ホールロビー



トライアングルロビー

レセプションホールの遮音性能向上

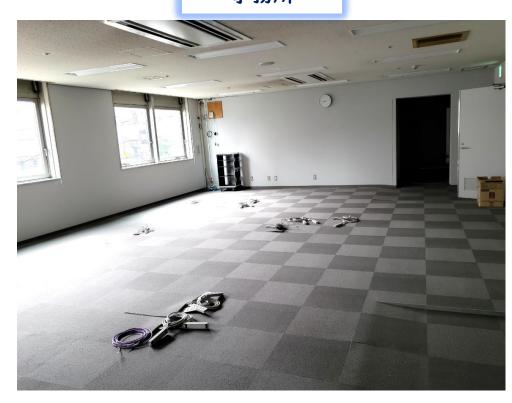


サッシの二重化



2 F事務所はOAフロア対応の改修を実施。

事務所



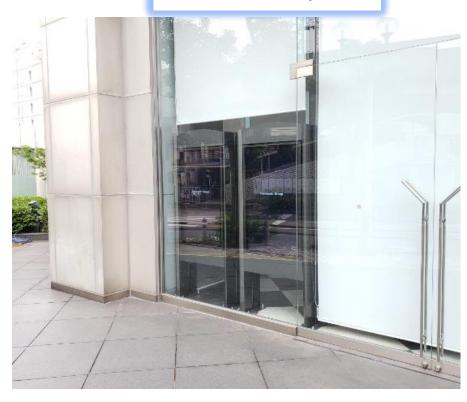
OAフロア



八尾の魅力発信につながる取り組みとしてデジタルサイネージを導入。 レセプションホールでは、2重サッシの改修を行い、遮音性・空調負荷低減の機能を持たせた。

デジタルサイネージ

レセプションホール





改修に伴う機能更新

改修前後における機能比較

項目	改修前	改修後
大ホール	座席数:1,440席(+立見60) (1階 1,058席 2階 376席 車椅子席 6席 親子室) 天井構造:吊り天井	座席数:1,317席(+立見0) (1階 934席 2階 376席 車椅子席 7席 親子室) 天井構造:準構造
小ホール	座席数:390席(+立見50) (386席 2階 376席 車椅子席 4席 親子室)	座席数:330席(+立見29) (324席 車椅子席 6席 親子室)
光のプラザ	天井構造:吊り天井	天井構造:ワイヤー工法
レセプションホール	l 重サッシ 蛍光灯器具照明	2重サッシ LED照明、照明制御システムの導入
展示室		音響設備の新設
トイレ	洋・和便器トイレ 多目的トイレ8箇所	一般トイレは全て洋式便器化。 多目的トイレIO箇所 オストメイト・ベビーベッド増設 介助ベッド・幼児用小便器の新設
その他	授乳ブース 箇所	IF 段差解消機の設置 デジタルサイネージの新設 ベビーコーナー,調乳器の設置 授乳ブース4箇所

大規模改修に伴う部屋の変更

改修前後における部屋の配置変更

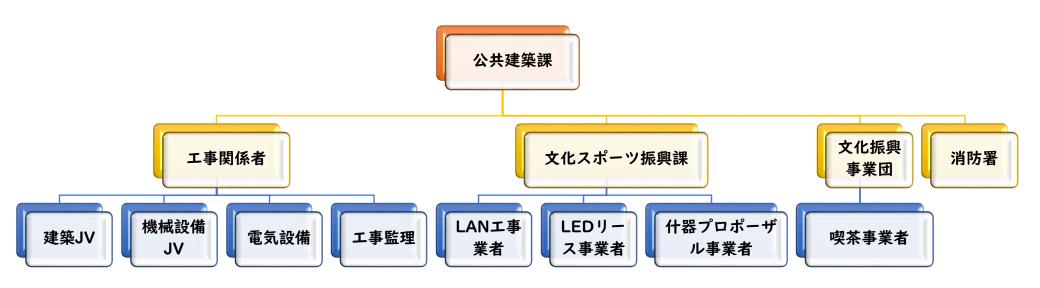
	改修前	改修後
5F	練習室 I・2 和室 レセプションホール	練習室 I・2 和室 レセプションホール
4F	会議室I·2·3 研修室	会議室1・2・3 研修室
3F	大ホール2階席 展示室	大ホール2階席 展示室
2F	大ホール 階席 文化情報コーナー 総合事務所 授乳室	大ホール I 階席 情報・交流コーナー 会議室 総合事務所 ベビーコーナー
IF	1	光のプラザ 大ホール楽屋 大ホール I 階席 カフェ・レストラン オープンコーナー
BIF	リハーサル室 駐車場	リハーサル室 駐車場
B2F	小ホール 小ホール楽屋 駐車場	小ホール 小ホール楽屋 駐車場 授乳室

3. 苦労したポイント

苦労したポイント

1. 関係部門との調整

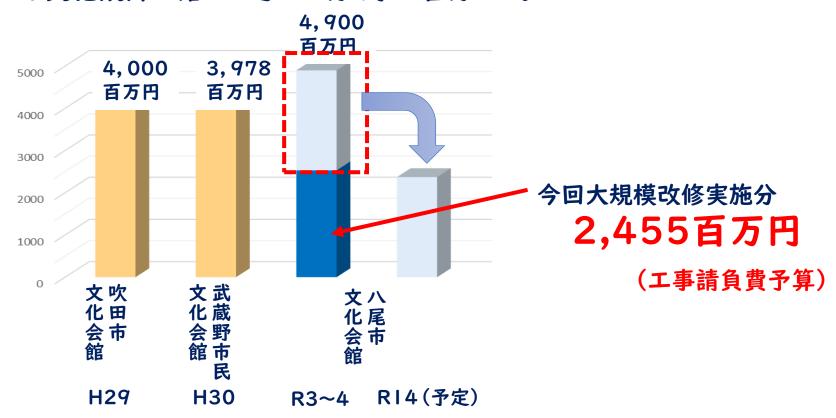
工事業者との調整だけでなく、各課、文化振興事業団、什器プロポーザル業者、 喫茶事業者等、工事に関わる関係部門が多岐にわたり、調整に苦労した。



苦労したポイント

2. 予算の調整

最小限の予算で大規模改修工事の目的を達成させるため、設計段階において、 施設で実施している事業のあり方検討を行い、施設の劣化状況を調査して優先度を 付けながら実施設計へ落とし込んで行く事に苦労した。



苦労したポイント

3. 既存改修における詳細調査や撤去・解体時の予期せぬ不具合対策

詳細調査を行っていくなかで新たに見つかった問題点に対する対応が多く発生。 解体や撤去作業の際に、工事対象範囲外の部分も含めた問題等も発生し、対策検討 や協議が困難であった。

- ●トイレの配置見直し、スラブ補強方法の検討
- ●機器の動作不良
- ●絶縁不良
- ●スラブはつりにおけるケーブル断線と補修
- 4. 特殊な技術検討

文化会館特有のシステムなどで、技術的な検討が難しかった

- ●舞台機構、舞台照明、舞台音響
- ●照明制御システム
- 5. コロナ対策

新型コロナウイルスの影響により、感染防止を徹底した工事を行うことや

一部材料や機器の納期が未定となり、代替案の検討等を行った。



MEMO